

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

薬剤師になりたいため、国家試験合格率が高く、綺麗な設備の整っている大学を探してこの1番行きたいと思い魅かを感じた大学が、同志社女子大学だったからです。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

苦手科目が多かったので、少しずつ克服しようと思いました。定期試験の勉強を中心に、授業の始めに行われる小テストは満点を取るように取り組みました。また、予習・復習も毎日やっていました。

〔夏休み〕

私は家では色んな誘惑に負けず勉強に集中できました。毎日図書館に行っていました。数学は、学校で出た問題集を、英語は長文を読む、ということは何度も繰り返しました。化学は何度問題を解いてもなかなか点数が上やらず、とても悩みました。そのため、基礎からやり直そうと思い、少しでも時間があいたら化学の教科書をずっと読んでいました。

〔2学期～入試直前〕

一般入学試験の過去問を赤本を買って、まず、1年分だけ解いてみました。解けていないところはやはり苦手の分野だったので教科書や授業ノートを見返して、自分なりにまとめて、苦手の分野だけがまとめたノートを作りました。そのノートを試験直前まで最初から最後まで毎日目を通しました。毎月あった模試では、化学だけの点数が伸び悩んでいました。模試が終わった後はわからなかった問題を答えを見ずに自分で解けるまでがんばりました。そして、1週間後くらいに同じ問題をもう一度解けるか確認しました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は毎日の授業をしっかり聞くことが一番大事だと受験生のとちろ痛感しました。夜遅くまで起きて勉強していると次の日の授業に集中できなくなるので、12時には必ず寝るようにしていました。テレビは気分転換になるので、1週間に1日だけ観ても良い日を決めていました。そのような日を決めると、あと何日でテレビが観れるからがんばろうという気になれたのがオススメです。

私自身成績が伸びず、模試の判定が悪い状況や、不安になることもありました。私はそのような時は仲の良い友人や先生に相談して全言葉にするようにしていました。そうすることで、不安な気持ちもとても軽くなりました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

毎日勉強することが大事です。1日1時間でもいいので机に向かってくたさい。つらくなる時もあると思います。でもつらいのは自分だけではありません。仲間がいます。みんなががんばってくたさい。また、どんなに勉強が大変でも学校行事は全やで楽しんでください。楽しむことは楽しむ、勉強するときは勉強する。このメリハリが大事だと思います。応援しています。